

小学校 6 年時の再燃後、夜間の強いかゆみが軽減し半袖で過ごせるようになった 10 代アトピーの経過 (15 歳男性)

症例 ID：001-15-YY10 | 記録日：2016 年 9 月 27 日

1. 診断・治療前経過

保育園期に花粉症とアトピー性皮膚炎があり、足の甲と膝裏の症状はいったん目立たなくなりました。
小学校 6 年頃にアトピー症状が再燃し、中学 1 年頃には膝裏、肘内側、胸元、首のかゆみが強く、夜に眠れない状態となりました。遠距離から通院と電話による相談を続けました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	保育園期にステロイド外用薬を処方されましたが、使用頻度は少ない状態でした。内服ステロイドの使用はありません。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	確認できません。
中止時期	松本医院受診前です。
来院前／後	来院前に外用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
保育園期	初回発症	花粉症と足の甲・膝裏のアトピー症状がみられました。
小学校 6 年頃	再燃	いったん治まっていたアトピー症状が再び出ました。
中学 1 年頃	症状のピーク	膝裏、肘内側、胸元、首のかゆみが強く、夜に眠れない状態でした。
中学 1～3 年	反復する症状	眠れる夜と眠れない夜を繰り返しながら、湿疹が少しずつ減りました。
2016 年夏	生活変化	それまで夏も長袖で肘を隠していましたが、半袖を着て過ごしました。
2016 年 9 月	経過	かゆみは残るものの、かゆくて眠れない日はなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、中学 1 年頃に膝裏、肘内側、胸元、首のかゆみが強く、夜に眠れない状態が続いた時期です。

5. 困りごと

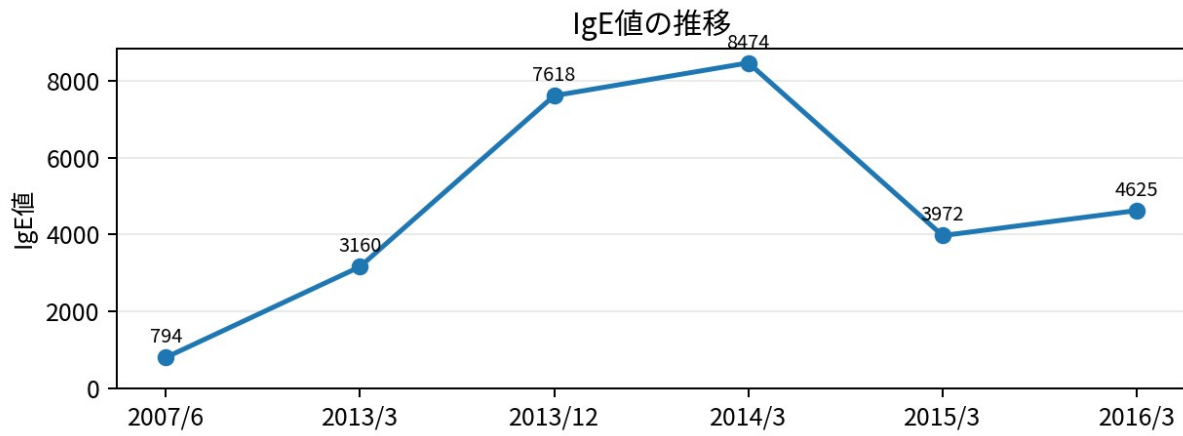
- ・夜間の強いかゆみで眠れない日がありました。
- ・保護者が眠りやすくするために夜間のマッサージを行いました。
- ・肘の湿疹を隠すため、中学 1～3 年の夏も長袖を着用しました。
- ・東京から大阪への遠距離通院が必要でした。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中の記録として掲載しています。

(1) IgE 検査値

検査時期	IgE 値（単位は確認できません）
2007 年 6 月	794
2013 年 3 月	3,160
2013 年 12 月	7,618
2014 年 3 月	8,474
2015 年 3 月	3,972
2016 年 3 月	4,625

(2) IgE 推移グラフ



2007 年 6 月～2016 年 3 月の IgE 値の推移。

7. 経過のまとめ

小学校 6 年頃の再燃後、中学 1 年頃には夜も眠れない強いかゆみがありましたが、症状は波を伴いながら少しずつ軽くなりました。

2016 年夏には半袖で過ごせるようになり、同年 9 月時点ではかゆみが残るものの、かゆくて眠れない日はなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。